

令和4年度Mサポ利用登録団体活動状況アンケート
調査結果報告書

前橋市 市民部 生活課
(前橋市市民活動支援センター)
令和4年6月

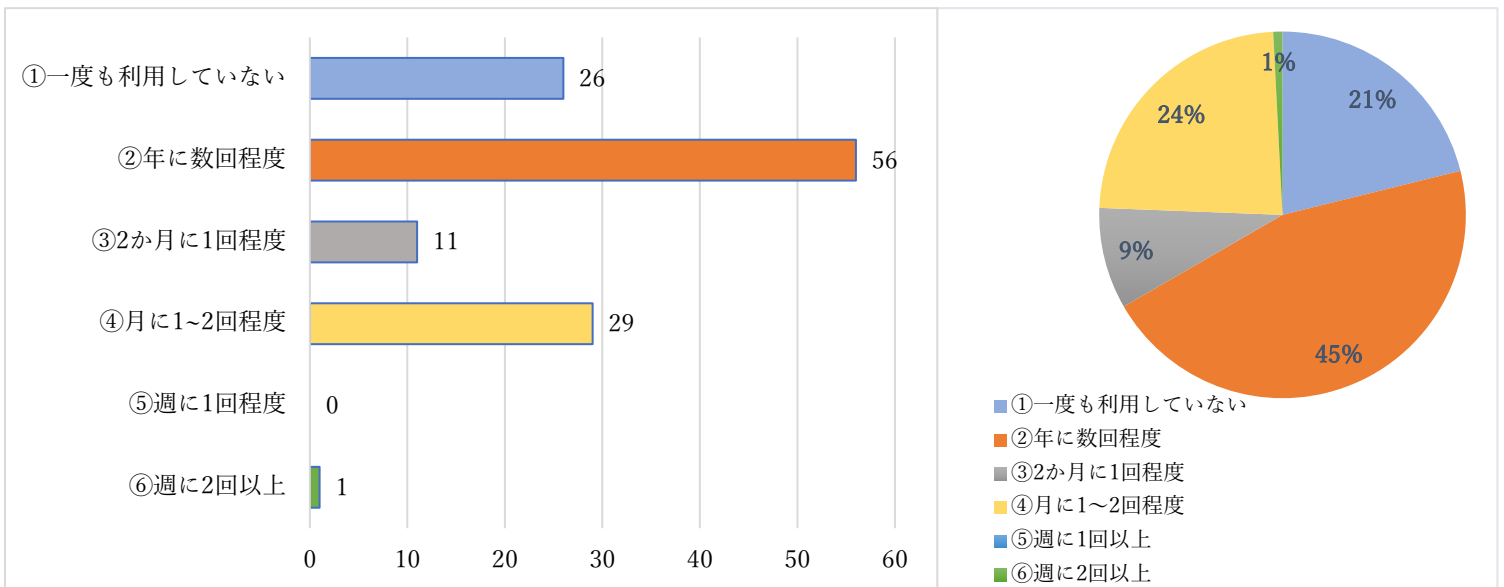
Mサポ利用登録団体活動状況アンケート調査結果報告

【調査概要】

- (1) 目的 前橋市市民活動支援センター（Mサポ）運営の市直営化に伴い、団体の活動に対する考え方やMサポに対する要望を把握したいことから、アンケート調査を実施した。
- (2) 調査期間 令和4年4月11日～5月7日
- (3) 調査対象者 Mサポ利用登録団体（344団体）
- (4) 調査方法 郵送、メールによる配布、回収（FAX含む）
- (5) 回収状況 回収数 123票
回収率 35.7%
- ※回答数内訳
- ・郵送・窓口（回答用紙） 41
 - ・WEB（Googleフォーム） 62
 - ・FAX 20
- (6) 調査項目 Q1. 過去1年間のMサポ利用状況について
Q2. Mサポの利用目的について
Q3. 一度も利用していない理由について
Q4. 現在の活動状況について
Q5. 活動頻度について
Q6. 主な活動の性格について
Q7. 他の団体と連携したいですか。
Q8. 他団体と連携をする場合は、どのような団体と連携をしたいですか。
Q9. 活動に対しての支援として、Mサポにどのようなことを求めますか。
Q10. 現在の活動の課題や困っていること
Q11. 生まれ変わったMサポに望むことや期待すること

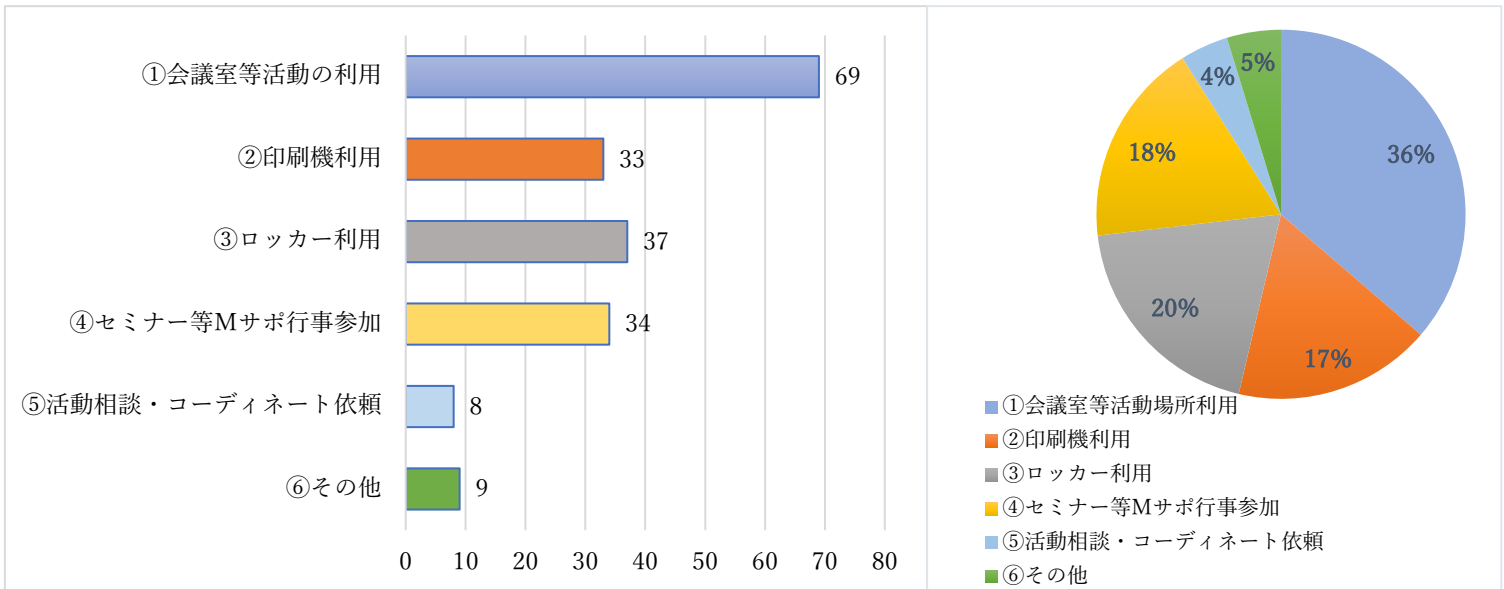
【調査結果】

Q 1 : 過去 1 年間のMサポ利用状況について当てはまるものは以下のどれですか。



・「年に数回程度」と回答した団体が一番多く、全体の45%を占めた。
 ・一方で「一度も利用していない」と回答した団体が21%となった。

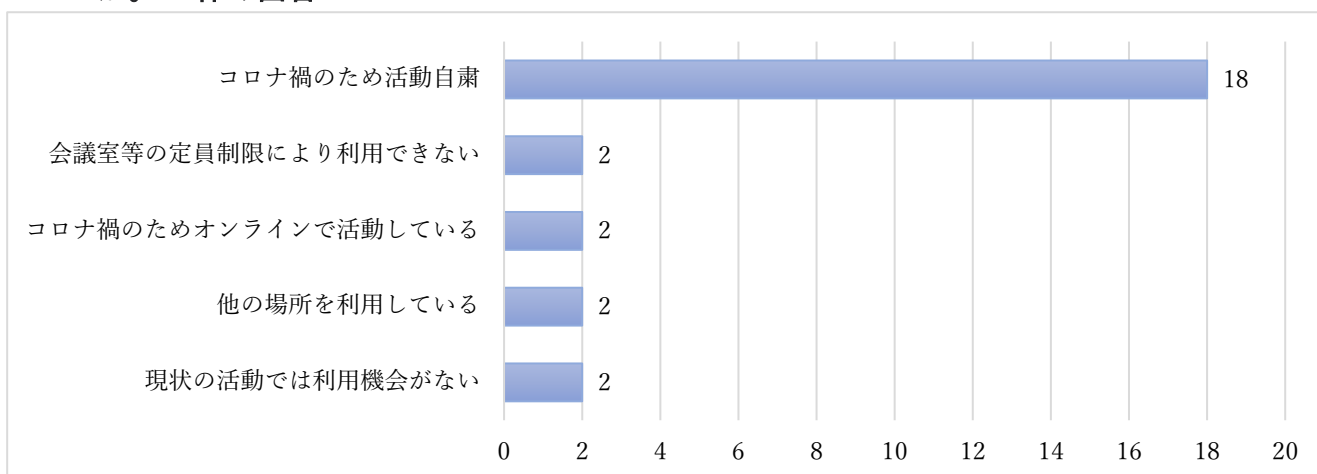
Q 2 : Q 1 で②~⑥を選んだ団体に伺います。Mサポの利用目的は以下のどれですか。(複数回答可)



その他：広報 5件、貸出機材利用 3件、様子伺い 1件

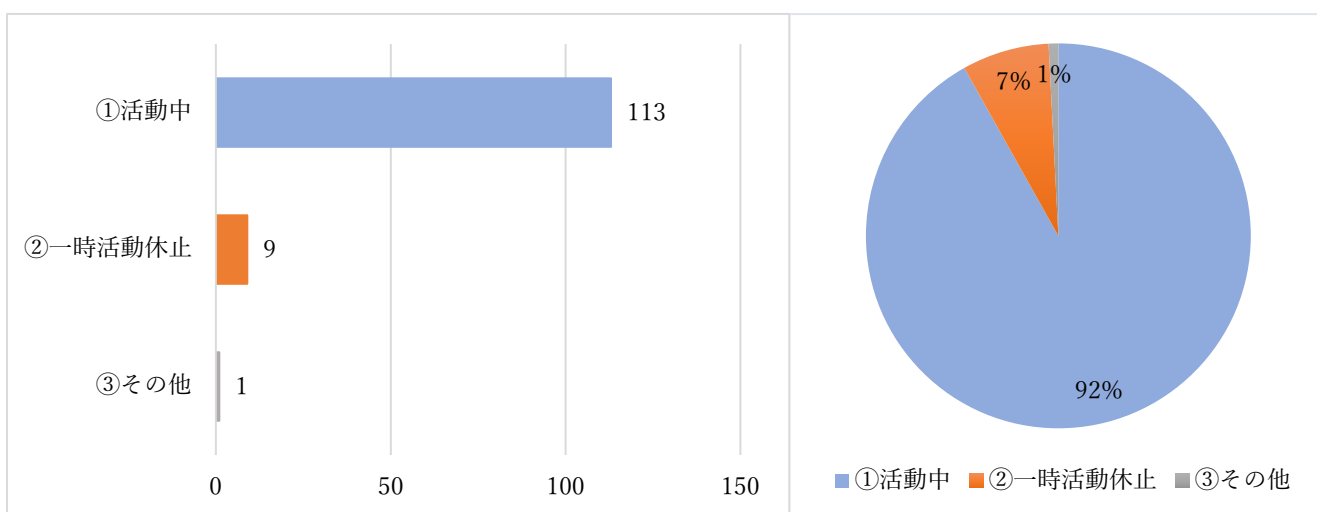
・「会議室等活動場所の利用」「印刷機の利用」「ロッカーの利用」と回答した団体が多く、活動する上でのハード面の利用が多い。
 ・「活動相談・コーディネート依頼」と回答した団体は8団体であり、Mサポへの中間支援やコーディネートを目的とした利用は少ない。

Q3：Q1で①を選んだ団体に伺います。過去1年間でMサポを一度も利用していない理由は何ですか。26件の回答



・コロナの影響でMサポを利用していない団体が多い。

Q4：現在の活動状況についてあてはまるものは以下のどれですか。

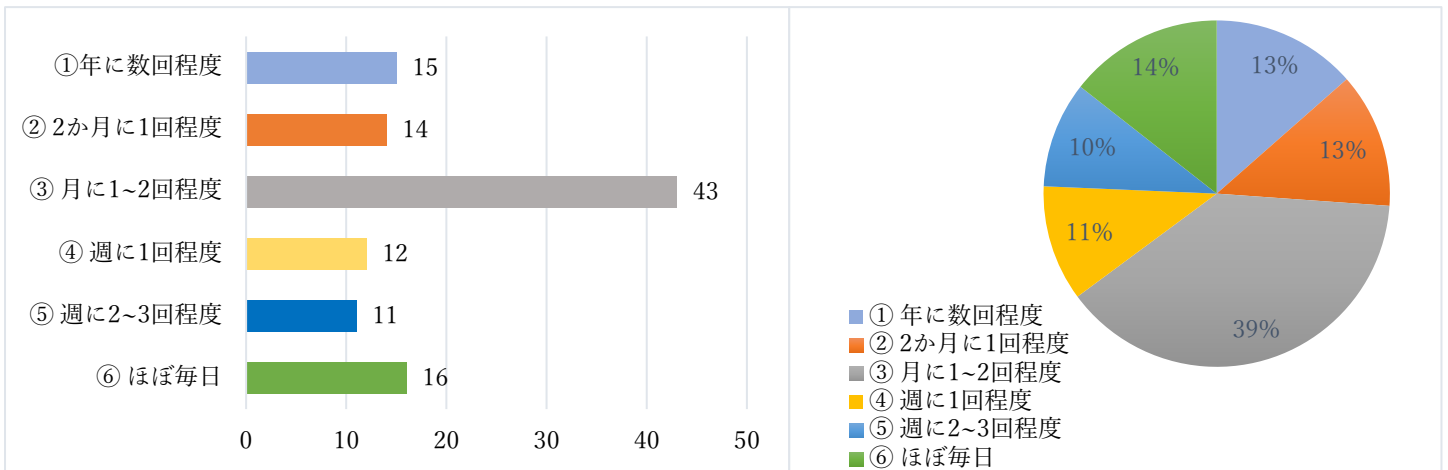


活動休止理由：コロナ禍のため 9件

その他：徐々に活動を再開

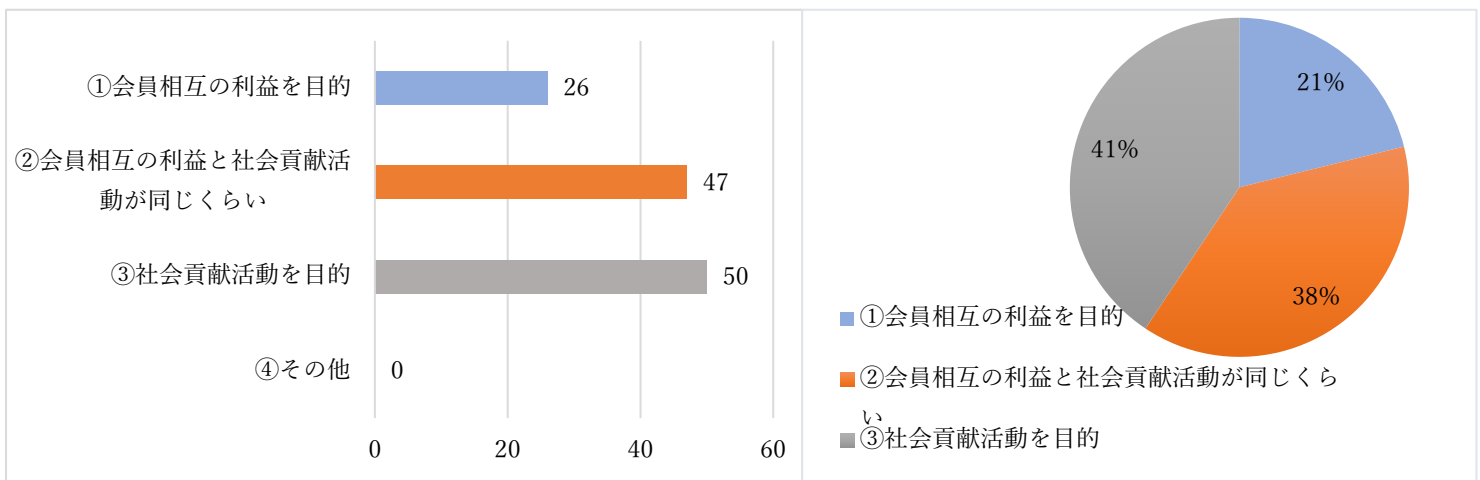
・コロナの影響で活動を休止している団体もあるが、多くの団体は活動を行っている。

Q5：Q4で①を選んだ団体に伺います。活動頻度はどれくらいですか。



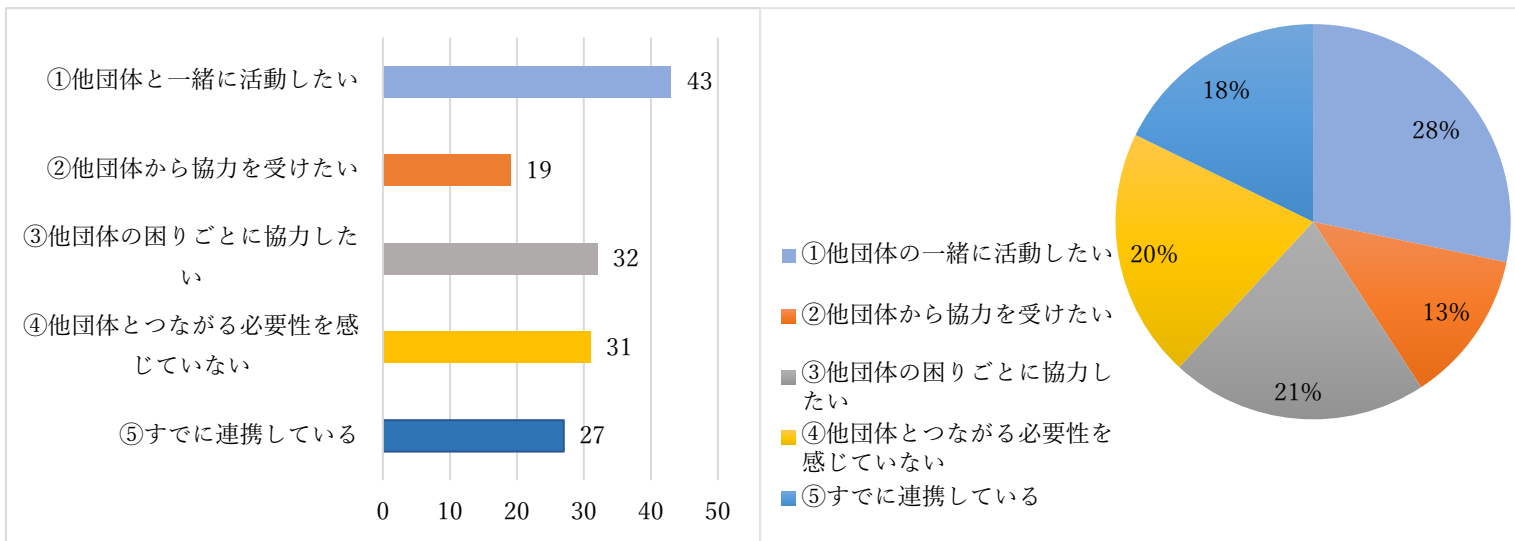
- ・「月に1~2」と回答した団体が一番多く、全体の39%を占めた。
- ・その他の回答は同水準だが、「ほぼ毎日」活動している団体が14%という回答だった。

Q6：主な活動の性格を教えてください



- ・「会員相互の利益と社会貢献活動が同じくらい」「社会貢献活動を目的」を合計すると約80%の団体が社会貢献を目的として活動を行っている。

Q7：他の団体と連携したいですか。一緒に活動したり、協力を受けてみたいと思いますか。
(複数回答可)



- ・ 80%の団体が、他団体との連携を望んでいる、またはすでに連携をしている。
- ・ 20%の団体が「他団体とつながる必要性を感じていない」との考えである。

Q7で⑤を選んだ団体に伺います。連携している団体をご記入ください。(複数回答可)

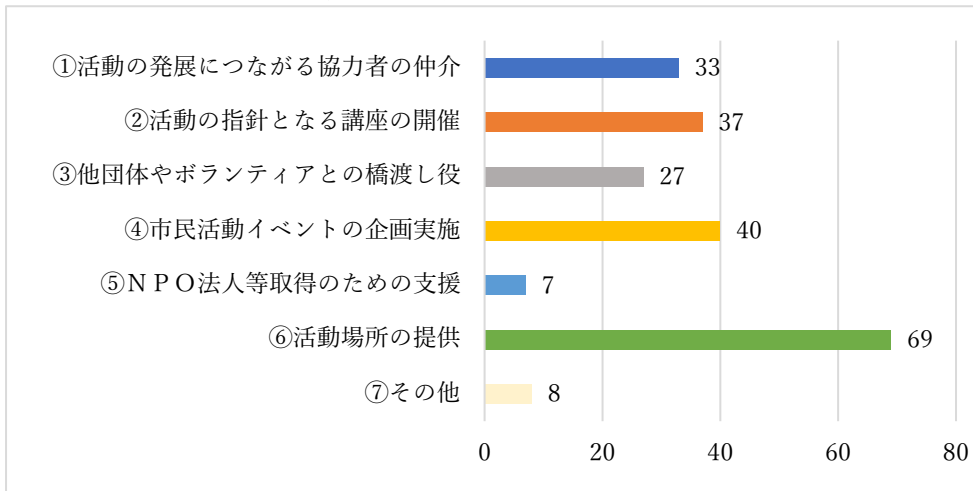
27件の回答から50の団体や企業等の名前が挙がりました。なお、具体的な団体名・企業名については伏せさせていただきます。

Q8：Q7で①～③を選んだ団体に伺います。他団体と連携をする場合は、どのような団体と連携をしたいと思いますか。希望連携団体・分野・どのようなことを一緒にやりたいかなど自由にご記入ください。63件の回答

- ・ 福祉・介護・介助など、災害時要支援者と関係している団体や広域で調査を行っている団体
- ・ 自然体験や環境学習に関連する団体
- ・ 地域で多様性をベースに考え活動している団体
- ・ イベントなどがあった時に子どもと学んで遊べる団体
- ・ 資金援助をしていただける企業
- ・ 自団体の活動にボランティアとして参加してくれる団体
- ・ まちづくり活動を行っている団体や中心商店街と関係のある団体
- ・ 連携を希望する特定の団体はないが、資料作り等の協力要請があれば協力したい
- ・ カウンセリングのロープレの相手になってくれる方
- ・ 明寿大学同窓会クラブや中央公民館利用クラブ（文化祭、発表会など一緒に行いたい）
- ・ 保護者向け ict 教育を行っている団体
- ・ イベント開催時に協力してくれる団体やイベント内でセミナーをしてくれる団体
- ・ ひきこもりの方を抱える家族と本人のコミュニケーションの支援をしてくれる団体

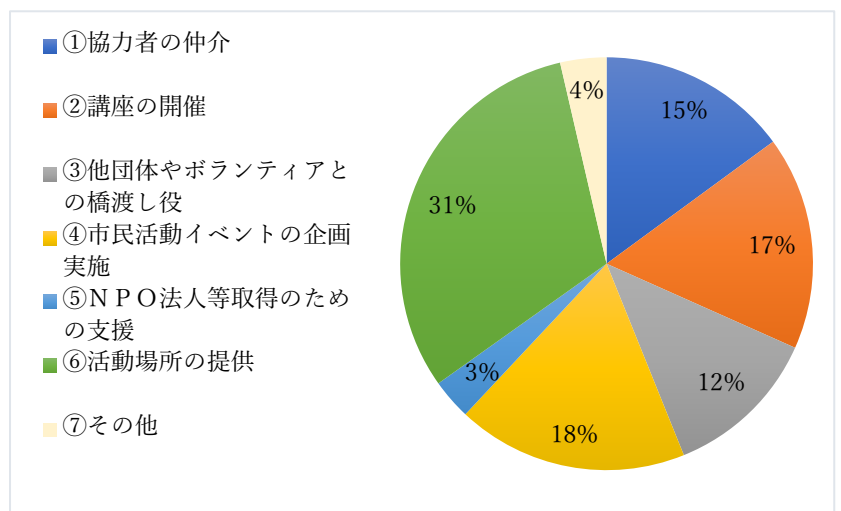
- ・不登校、ひきこもり支援や心理カウンセリング関係を中心に、お互いに補い合う活動ができる団体
- ・病気が原因のひきこもりや、社会生活への不安を抱えている人の支援や相談ができる団体
- ・20～30歳代のまちづくりを行っている団体
- ・大正琴の演奏に合わせて、歌やダンスを披露してくれる団体（イベントや慰問への参加）
- ・障害者支援をしている団体
- ・合同で展示会の開催してくれるアート団体（イベントのチラシを交換して宣伝広報を協力して行う）
- ・演劇等や芸術系の団体（連携して地域の映像作品を生み出す等、地域文化の発展に貢献したい）
- ・マイノリティの当事者・支援に関わる団体や子どもに関わる活動をする団体
- ・外国人と日本人が交流できるようなイベントを行う団体
- ・社交ダンスを通じて、社会貢献できる場を提供してくれる団体
- ・児童福祉・子育て支援・介護者支援など様々な人々の心身サポートを行なっている団体（活動を支援する形で、セラピューティック・ケアを届けたい）
- ・人材育成の活動に取り組んでいる団体
- ・スポーツ関係の団体（運営・参加協力）
- ・生涯学習を目的とする団体（朗読の普及指導）
- ・環境問題に関心がある団体
- ・子ども関連・人権関連の団体（意見交換や共同学習をしたい）
- ・対話型アート鑑賞会を主に企画運営、対話型鑑賞に興味、コラボを考えている団体
- ・福祉・教育等の活動を行う団体（屋外活動（登山・ハイキング）での協力連携・情報共有）
- ・防災分野の団体（障害者・認知症高齢者の自然災害時の対応について連携した活動をしたい）
- ・高校生の力で何か手伝えることがあれば協力したい
- ・前橋まつりのだんべえ踊りを通じた連携を行いたい
- ・金銭教育等の活動を行っているので、イベントなどで他団体と連携したい
- ・他団体と連携して講演会の企画等を行いたい
- ・介護保険適用外の活動を支援したい（主に樹木の剪定や草むしりなど）
- ・視覚に障害のある方（特に中途視覚障害者）のピアカウンセリングを行っており、健常者の方にも効果的
- ・毎年繰り返し発生する気象災害の予測と備えについて希望する団体に情報解析法を指導
- ・音楽面で協力を求められた場合は、協力はできる
- ・外国人支援活動の際の言語的支援

Q9：活動に対する支援として、Mサポにどのようなことを求めますか。（複数回答可）



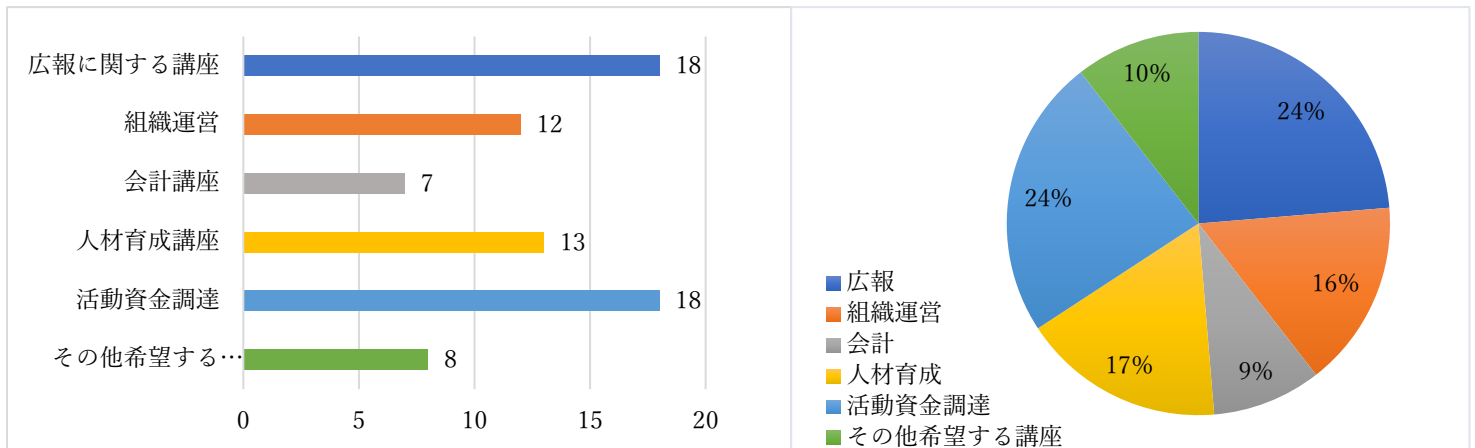
その他

- ・印刷機の利用
- ・市の他部署との交渉の橋渡し役
- ・Mサポが登録団体を取材し発信
- ・各団体の活動をオンタイムで知りたい
- ・団体のPR
- ・活動の発表の場の提供



- ・ Mサポに求める支援として「活動場所の提供」が最も多く、全体の31%を占めていた。
- ・ 「活動の指針となる講座の開催」「市民活動イベントの企画実施」を合わせると35%となり、Mサポに講座やイベントの開催を求める団体が多い。
- ・ 「活動の発展につながる協力者の仲介」「他団体やボランティアとの橋渡し役」を合わせると27%となり、Mサポに中間支援・コーディネートを求める団体が多い。

Q9で②を選んだ団体に伺います。受講してみたい講座に☑を付けてください。(複数回答可)



その他：各登録団体が自分たちのスキルを生かした講座 2件

リモート会議のやり方

オンラインやSNS、動画での広報などのスキルを学べる講座

活動のオンライン推進

Canva 講座（グラフィックデザインプラットフォーム）

IT 関係でクラウドの使い方

法律改正（NPO 等）に係わる説明講座

Q10：現在の活動の課題や困っていることを自由にご記入ください。94 件の回答

- ・コロナの影響で活動が停滞している。 18 件
- ・会員の高齢化、担い手不足 15 件
- ・人材募集、会員集め 10 件
- ・活動資金の調達（助成金等の情報収集や申請書の記載方法） 9 件
- ・Mサポ会議室やミーティングブースの使用人数制限 6 件
- ・活動の拠点となる場所がない 4 件
- ・組織運営 3 件
- ・他団体や行政との協働・連携が進まない 3 件
- ・広報、イベントの告知と集客 2 件
- ・コロナ禍でのコミュニケーション 2 件
- ・会員が高齢のためオンラインやITの普及についていけない
- ・食品を活用する施設や団体を増やすこと
- ・コロナの影響で国際交流の機会が減ってしまった
- ・活動に参加する子どもが少なくなっている

- ・コロナの影響による課題や困りごとが最も多い。
- ・会員の高齢化や担い手不足、人材募集、活動資金の調達といった団体運営に関わる困りごとが多い。

Q 1 1 : 生まれ変わったMサポに望むことや期待することを自由にご記入ください。85 件の回答

・従来の M サポサービスの維持 28 件

・団体の活性化支援 8 件

市直営化に関して

・市の直営なので、助言や関係部署との仲介をお願いしたい

・市が管理する施設等の貸し出しや、セミナーで利用出来る PC の整備

・市の各課からの市民活動に関する助成金等の情報提供

コーディネート

・連携のつなぎ役

・自団体の活動に関心がある NPO や団体に「つながる」「つなげる」ことに期待する

・他団体と交流できる SNS (LINE グループや Facebook グループ) の開設

・さまざまな活動をしている団体を結び付けて、それぞれが新たなステージに向けて前進できる機会の創出

相談

・法人格の取得の可否の判断ができる情報の提供、相談の対応を可能にしてほしい

・活動目的に沿った、行政、企業、中間組織、ボランティア連携の在り方を探る際の相談

情報発信

・団体の情報発信

イベント・セミナー

・団体を繋げるイベントなどの開催 5 件

・市民活動に役立つ講座の開催 3 件

・より多くの市民活動団体が一緒に企画したり出展するようなイベント

オンライン化

・コロナ禍に対応した様々な活動のオンライン化支援

元気お届けたい

・イベントや施設慰問の出演依頼のサポート 2 件

要望

・状況が許せば会議室の利用時間を 4 時間ほどに延ばしてほしい

・部屋の申請手続きを簡単にしてほしい

・その日に予約されている内容 (部屋、団体名) をもっとわかりやすく表示してほしい

・各団体の活動が活性化するように、顕著な活動団体を表彰する制度を設けてほしい

・今回変わる事で、今までとどう変わるのかを示してほしい

・従来の M サポサービスの維持を望む意見が多い。

・一方で市直営化に伴う行政内のワンストップサービスを望む意見もみられる。

・他社とのつながりの創出につながる機会やイベントの実施を望む意見も多くみられる。